

大同生命保険株式会社



北海道札幌市

贈呈理由

ヒートポンプ空調システムの採用により、寒冷地における再開発ビルの省エネルギーを実現

北海道



個別分散



大同生命札幌ビル

札幌市中心部で地域活性化への貢献を目指した大型複合施設の誕生

2020年3月、札幌市中央区に「大同生命札幌ビル(以下、本建物)」が竣工した。本建物は、札幌市中心部の「北三条交差点」に位置し、JR「札幌」駅と地下鉄「大通」駅を連結する「札幌駅前通地下歩行空間(通称:チ・カ・ホ)」と地下1階で接続し、雨や雪などの悪天候に左右されない快適なアクセスが可能となっている。

オフィス(3~14階)と商業施設(地下1階~2階)で構成されており、2階には市民が集い憩える場所として、樹木を配した開放感のあるラウンジ

(「icoi Lounge(イコイ ラウンジ)」)を設けている。当ラウンジには、高さ約7メートルの大型の可動ガラスを設置。天気の良い日には可動ガラスを開放し、心地よい風を感じることができる空間となっている。また、災害時には、帰宅困難者などの一時的な受入場所として提供予定である。商業施設「miredo(ミレド)」には、飲食店を中心に15店舗(うち北海道初出店3店舗)が出店するなど、さらなる地域活性化に貢献するものである。

寒冷地用電気式ヒートポンプ空調による省エネルギー化・BCP対策・CO₂排出量の抑制

建物面積の7割強を占めるオフィス・



電気式ヒートポンプ

防災センター部分の空調設備は、省エネルギー性が高く、メンテナンス性にも優れている寒冷地用電気式ヒートポンプ空調を採用した。個別空調方式の採用により熱源機故障によるリスクを軽減し、一次側電源の対策としてシステムの異なる変電所から電力を引き込む2回線受電方式を採用している。また、非常用発電機を設置し、停電時に72時間の電力供給を可能とするなど、BCP対策にも十分な配慮がなされている。

省エネルギー性とメンテナンス性が優れている電気式ヒートポンプを採用するため再生可能エネルギー(水力・地熱・太陽光)の環境価値を電力契約に付帯させる電力会社の新しい料金プランもあわせて活用し、CO₂排出量抑制を図った。今後は導入した寒冷地用電気式ヒートポンプ空調の効率的な運用を行ない、省エネルギーとCO₂排出量抑制の推進に努めていく。

大同生命札幌ビル

所在地:北海道札幌市中央区北三条西3丁目1番地
設計:日建設計・北海道日建設計共同企業体
施工:機大林組
延床面積:23,901.33㎡
竣工:2020年新設
URL:https://www.daido-life.co.jp/

■ 設備概要

電気式ヒートポンプ(ビル用マルチ)
55台、能力計2,260kW
(日立グローバルライフソリューションズ)

